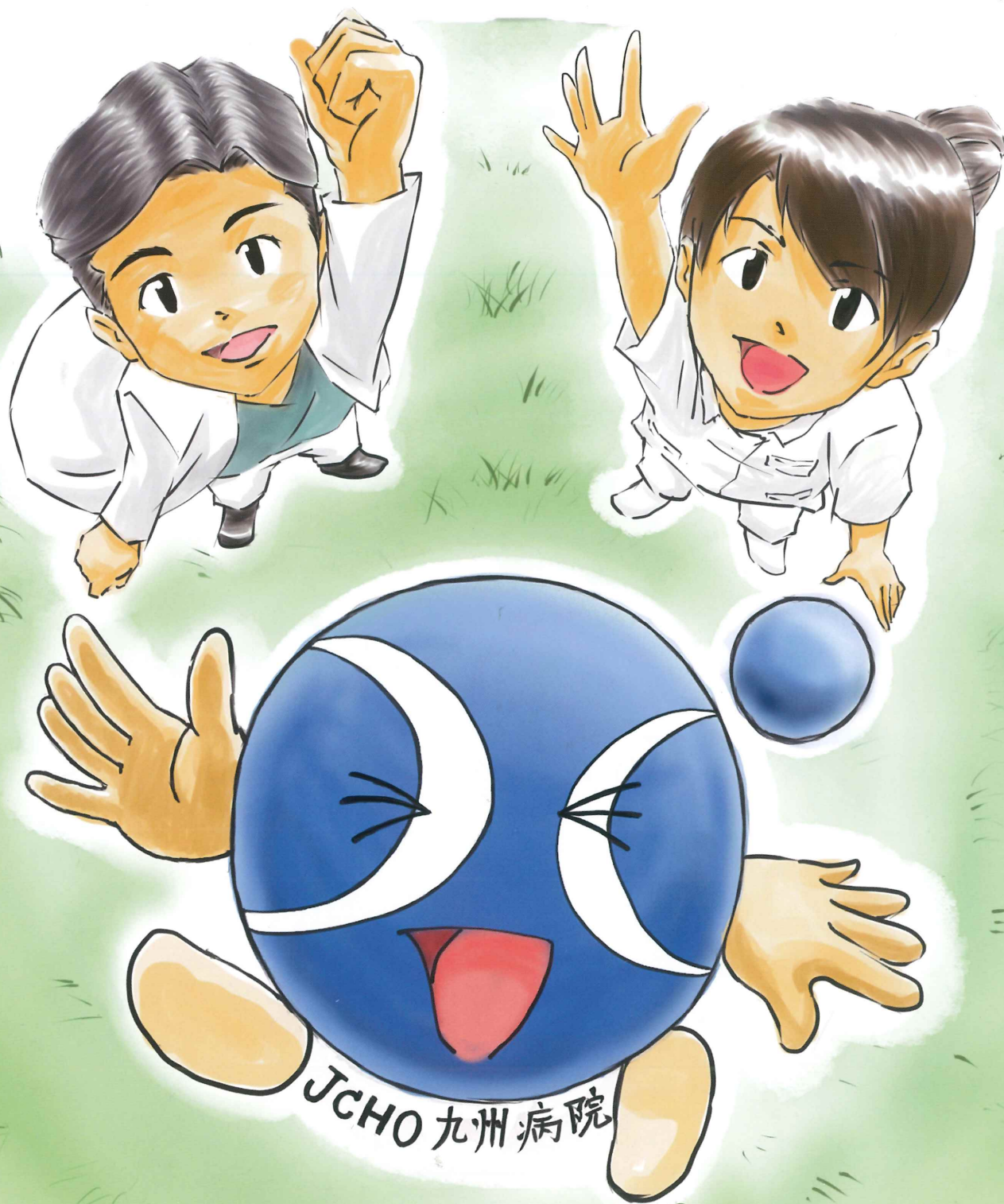


地域を支える 看護職を目指して



独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO九州病院



良質な医療・看護を提供するために 人材育成に力を注いでいます。

当院は昭和30年の開設以来、高度医療を提供する急性期型基幹病院として、北九州の地域医療に貢献してきました。地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、福岡県周産期母子医療センター、災害拠点病院として役割を発揮しています。ICU、NICU、緩和ケア病棟などを有し、超低体重児から高齢者まで幅広い発達段階における急性期看護を学べることは当院の強みです。

また、全国に57あるグループ病院の中には、訪問看護ステーションや老人保健施設を持つ病院もあり、皆さんがやりたい看護がJCHOにはあります。

「信頼される、あたたかい看護の実践」を目指しながら、職員がこの病院で働くことに誇りと生き甲斐を持ち、幸せを感じることが出来る職場作りに努めています。

PNSを取り入れて、お互いを助けあい学びあいながら看護を行っています。安心して成長できる環境が整った当院で、一緒に働きませんか。

看護部長

【看護部概要】

常勤看護職員数／約680名

入院基本科 急性期一般入院科1

変則二交代制

パートナーシップ・ナースング・システム

一部機能別看護方式

魅力ある職場づくりに取り組んでいます

- ・ 部署の魅力をデジタルサイネージにて院内発信
- ・ 挨拶バッチによる接客改善
- ・ 看護部からのサプライズ



スタッフ・メンタルヘルス相談室

平成20年から病院職員のために「スタッフ・メンタルヘルス相談室」が開設されています。ここで相談される内容は、相談に来られた方の了解なしにカウンセラー以外にもれることはありません。安心してご相談ください。

● カウンセラーからのメッセージ

当院にはメンタル（こころの健康）サポートとして、職員対象の相談室があります。患者さんの治療を最前線で支える看護師の皆さんが、自分らしさも大切にしながら働けることをサポートしたいと思っています。

看護部の理念

信頼される、
あたたかい看護
の実践



教育 JCHO 九州病院 看護師 理想とする姿

看護師という職業の役割や使命について自ら考えをもち、語り実践できる看護師を育てたいと考えました。

看護を考え実践できる看護師



スペシャリスト

エキスパートの育成に努めています。

当院では診療看護師1名、専門看護師4名、14分野24名の認定看護師が院内外で活躍しています。

また、特定行為研修修了者も増えています。

	分野	人数
診療看護師		1
専門看護師	がん看護	2
	慢性疾患看護	1
	感染症看護	1
認定看護師	感染管理	4
	皮膚・排泄ケア	4
	救急看護	2
	集中ケア	1
	手術看護	2
	糖尿病看護	1
	緩和ケア	3
	がん化学療法看護	2
	がん放射線療法看護	1
	小児救急看護	2
	認知症看護	1
	慢性心不全看護	1
	摂食・嚥下障害看護	1
	脳卒中リハビリテーション看護	1
	クリティカルケア	1
認定看護管理者		5
特定行為研修修了者		13

令和7年1月1日現在



スペシャリストの活動報告会

診療看護師

2021年4月より診療看護師（以下Nurse Practitioner：NP）として活動を開始しております。

日本では2008年から法制化に先駆けて大学院修士課程においてNP養成コースを開設しており、大学院では身体診察学、病態生理学、薬理学を中心とする医学教育を受け、NP資格認定試験合格または特定行為（21区分38行為）を研修終了しています。

当院では看護の質向上支援室に配属し、現在麻酔科で診療看護師業務にあたっています。今年度は、麻酔科・救急総合診療科医師の指導のもとで安全で確実な診療を行うための知識や技術を習得していきます。そして、診療看護師として看護実践能力の基盤、そして医学的知識・技術や特定行為を用いて診療にあたることのできるという強みを生かし、患者ニーズの増大や多様化、複雑化した病態が増加する中でも、医師・コメディカルと協働し、診療・看護をタイムリーかつ効果的・効率的に提供し、患者のQOLの向上に寄与していきたいと考えています。



先輩看護師

からのメッセージ



がん看護専門看護師

私はがん看護専門看護師として、緩和ケア病棟に入院中の患者と家族の看護に従事しています。最期まで患者の自律性を尊重し、その人が納得できる、その人らしさを取り入れた直接ケアや、チームで考えて提供するために関係者間の調整を心掛けています。その他、連携先の訪問看護師と意思決定支援の難しさを語り合う事例検討を企画したり、緩和ケアの質向上を目指した研究にも取り組んでいます。がん看護に関心がある方は、是非一緒に働いてみませんか。



慢性疾患看護専門看護師

慢性疾患は、患者さんやご家族が毎日の生活の中で管理していかなければならない病気です。私は、患者さんが納得してまた安心して治療に取り組むことができるように、一緒に療養方法を話し合います。皆さんが出会う糖尿病やその他の慢性疾患患者さんの療養方法について、疑問や心配があればいつでもご連絡ください。必要な情報を提供したり、相談にものっていききたいと思います。



クリティカルケア看護認定看護師

クリティカルケア看護は、あらゆる場で重症度・緊急度に応じて初期対応や重篤化回避、早期回復支援を行います。普段は集中治療室（ICU）に所属し、ICU看護師と共に患者さんへのよりよい看護に努めています。また、院内のRRS（院内迅速対応システム）やRST（呼吸サポートチーム）の一員としてチーム医療の活動もしています。患者さん・ご家族を支援し、やりがいのある看護を実践するため、サポートをしたいと考えています。

新人教育

充実した継続教育で質の高い看護を提供します。

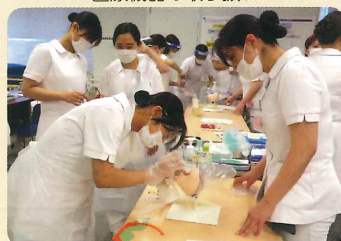
■新人教育

月	項目	内容
4月	入職時多職種合同オリエンテーション (3日間)	病院の概要 就業規則 医療情報システム 医療安全 感染対策 チームビルド研修 など
5月	集合研修 (3日間) 地区事務所 主催 研修	基礎看護技術 看護記録 電子カルテの使い方
6月	集合研修	心電図の取り方 BLSシミュレーション研修
7月	新人交流会	技術研修 (4月・5月・6月) 実施内容のフォローアップ 新人同士の交流
8月	新人交流会	技術研修 (4月・5月・6月) 実施内容のフォローアップ 新人同士の交流
9月	多重課題シミュレーション研修開始 ローテーション研修開始 新人交流会	多重課題の模擬体験 手術室、ICU、救急外来など他部署の研修 技術研修 (4月・5月・6月) 実施内容のフォローアップ 新人同士の交流
10月	6ヶ月フォローアップ研修	高齢者認知症看護 がん看護 半年の振り返り
12月	統合演習	事例の提示 ロールプレイ
1月	逆シャドウ研修開始	実際の看護実践の場面をシャドウイング
3月	12ヶ月フォローアップ研修	災害看護 地域連携 12ヶ月の振り返り オレムのセルフケア理論*

*がん看護専門看護師からオレムのセルフケア理論について講義とグループワークを行います。
2年目に患者のもつ力に注目した「セルフケア支援」の看護実践について事例をまとめ発表をします。



医療機器の取り扱い



オーラルケア

チーム連携であたたかい 看護を提供しています

救急医療

～高度な医療を看護で支える～

救急外来



救急外来は、診療科を問わず患者が搬送されるため、幅広い疾患・症例を経験でき、スキルアップにつながります。また、搬送される患者は重篤・重症であるケースがほとんどであり、治療を行い回復した際には達成感や、やりがいを感じることができます。



重症度の高い方を受け持つため、多くの知識や看護技術を身に付ける必要がありますが、チームの仲間と協力し育み合いながら看護を行っています。やりがいや自己の成長を感じられる部署です。

ICU



手術は、患者さんやご家族の人生において重要な出来事です。そのような場面で、手術室看護師は患者さんの気持ちに寄り添い、真摯に向き合っています。また、患者さんが安全に手術を受けることができるように、日々手術看護のスキルを磨いています。

手術室



がんセンター

～生活を支える看護～

緩和ケア外来

がん治療中の患者さんの、身体や心のつらさは計り知れません。つらさを緩和し、その人らしく過ごすことが治療の最大の目標です。生活に目をむけて、その人らしくとは何かを考え、寄り添い、達成できたときに、看護のやりがいを感じます。



外来化学療法室

安全で確実な治療を提供し、治療による副作用症状や対策を患者さんの生活背景に合わせて行っています。そして、その人らしく過ごすこと（仕事や趣味などと治療の両立）ができるように医師や薬剤師など多職種で連携し、安心して治療を継続できるように努めています。

周産期母子医療センター

～つなぐ看護～

4階南病棟

ハイリスク妊産婦が多いため、妊娠期からNICU情報提供を行い、早期介入をすすめています。また、産後に育児サポート等が必要な時は地域の保健師と情報共有・連携を行い、母子ともに安全で安心な看護を心がけています。



4北病棟では多職種とカンファレンスを行い、育児や在宅ケアに不安を抱える両親に寄り添いながら看護をしています。退院後の子どもと家族が安心して過ごせるように、地域の保健師や訪問看護師と連携し、継続支援しています。



NICU

NICUは、地域で生まれた早産児、先天性疾患児、生後状態悪化した児がいます。児のストレスの緩和や成長が促されるような環境を作り、余儀なく母子分離となった児と家族に寄り添った看護ができるよう心がけています。



4階北病棟



緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、身体や心のつらさの緩和に努め、患者と家族の意思と希望を尊重し、穏やかに生活できることをチームでサポートしています。家族や院内多職種、地域の方々と話し合い、最期の時までその人らしさを考え看護を行っています。



多くの診療科で看護のスキルを身につけることができます！



教育 実習センター

Clinical Skills
Training Center

教育・実習センター

医師や看護師、医療技術者が実践的なトレーニングを行う「教育実習センター」を開設しました。新人看護師や中途採用者がいつでも技術トレーニングができ、自信を持って看護技術を提供できるようになります。



BLS 講習会



採血静脈注射モデルでトレーニングができます。



小児の気管内挿管のトレーニング中です。



講義風景



皮下注射



教材モデル

◎やすらぎのある快適な暮らし



コーポ白梅（寮）



全室冷暖房完備（寮）

◎ワークライフバランス



保育室



クリスマス会

※子育てしながら働き続けることができます。

◎インターンシップについて

春と夏にインターンシップを開催しています。

参加者からは、「実際の部署の雰囲気を知ることが出来た」「働いている看護師からの生の声をきくことができた」など参加して良かったという感想が多数聞かれています。

当院の看護を体験してみたい方、雰囲気を感じてみたい方、興味のある方は是非ご参加ください。

また、病院見学も可能です。

詳細は、ホームページでご確認ください。



交通アクセス



【北九州市営バス】
 黒崎駅: 51、52、56番バス
 黒崎駅前ふれあい通り: 51、52、56番バス

【西鉄バス】
 JCHO九州病院前行きバス



独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO)

九州病院



〒806-8501 北九州市八幡西区岸の浦1丁目8番1号 ☎093-641-5111(代表) FAX 093-642-1868